



# 資源循環型社会のための活動を行っています

## 廃棄物削減・再資源化

### 廃棄物削減の取り組み

廃棄物の削減と徹底した分別回収による再資源化を図ることが重要な使命と認識し、活動しています。

2003年度には、大気汚染の防止やダイオキシン対策特別措置法の順守を目的に木屑ボイラーを廃止したため、それまで燃料としてサーマルリサイクルされていた木屑や木粉が廃棄物扱いとなったことにより、廃棄物排出量が大幅に増加しました。その後の歩留向上などの取り組みにより廃棄物排出量を削減してまいりました。

2013年度は外注工程の構内への引入れにもなう廃棄物の増加のため、産業廃棄物排出量は、前年比+0.6%と微増しましたが、2014年度は資源の効率的活用と廃棄物の有価物化などにより、前年比-7.5%と大幅に減少しました。

再資源化につきましては、木屑等は全て再資源化(製紙原料、ボード原料、堆肥用、燃料用、他)しており、その他のフェルトなどは堆肥化するなど環境負荷の低減に役立つよう再資源化の取り組みを行なっています。その結果、再資源化率は、2012年度に前年の89.4%から96.0%に上昇しましたが、2014年度は94.4%(前年比-1.1%)でした。今後も廃棄物の再利用、再資源化を検討し、再資源化率の向上を目指します。

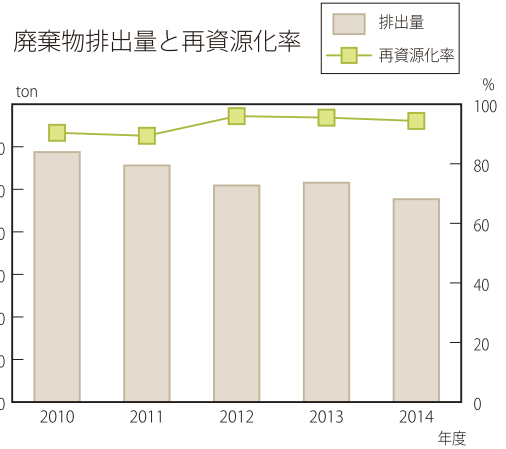
### リサイクル・リユースの取り組み

生産者拡大責任を踏まえて、循環型社会のためのピアノの再生利用を推進するために(株)ピアノリサイクルを1998年に設立しました。現在では竜洋工場内のリサイクルグループが本事業を担当しています。

日本国内では各営業拠点においても、下取りしたピアノを再生し、新たなお客様のもとへお届けしています。2014年度には約1,600台のピアノが再生・リユースされました。そのうち約3割が輸出され世界の各地で使われています。

### メーカーによるピアノ再生

メーカーだから出来る仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者が、古いピアノでも全面オーバーホールすることが可能です。弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。再生は、ピアノづくり80年を超える製造部門で長年の経験をもち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から大変好評をいただいています。また、カワイピアノなら純正パーツによる修理・再生も可能で、これも大きな魅力となっています。



廃棄物の再利用 (竜洋工場)

下取りしたピアノの再生リユース (2014年)

